



香川県立農業大学校

学校
案内

担い手養成科



香川農林業の担い手を育てる



農大HP

香川農大

検索

〒766-0004 香川県仲多度郡琴平町榎井34-3
TEL.0877-75-1141 FAX.0877-75-3989
HP <https://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>
E-mail nodai@pref.kagawa.lg.jp

担い手養成科

担い手養成科の特色

- 高度で実践的な農業技術と専門知識の習得
- 農業・農村社会のリーダーとして必要な指導力、企画力の養成
- 社会人として幅広い視野と協調性、連帯性の養成
- 国際化・情報化時代に対応できる創造力豊かな企業的经营感覚の養成
- 農場実習と講義を組み合わせた実践的な学びの場

担い手養成科のコース

野菜園芸



県内の主要品目を中心に作付けを行っており、露地では、ブロッコリー、レタス、タマネギ等の葉茎菜類、ニンジン、ダイコン等の根菜類、施設では、キュウリ、ミニトマト、イチゴ等の果菜類を栽培しています。また、イチゴでは、香川型イチゴ高設養液栽培(らくちんシステム)が導入されており、データを活用した複合環境制御(スマート農業)についても実習・講義を通して学ぶことができます。

花き園芸



キク、カーネーションなどの主要切り花とポインセチア、シクラメン、サイネリア等の鉢物やパンジー、サルビア、マリーゴールド等の花壇苗の栽培を実習と講義を通じて学習します。

また、近年需要が高まっているラナンキュラス等の県オリジナルの品種や新しい技術を取り入れた卒業論文(プロジェクト)に取り組んでいます。

果樹園芸



温州みかん「小原紅早生」やキウイフルーツ「さぬきゴールド」などの県オリジナル品種等を教材に、果樹栽培の専門知識を習得し、果樹農業に従事するための実践的なスキルを身につけます。最新の栽培技術や管理方法、病虫害の予防・対策など、果樹栽培に必要な幅広い知識を学ぶことができ、卒業後は果樹園芸に関する専門家として、農家や企業などで活躍できます。

校長からのメッセージ

今、香川県において第1次産業の担い手育成は大変重要となっています。農林業は資源とエネルギーを生み出すことのできる産業で、人々の衣食住や生きていくための環境を支える大きな役割を社会から期待されていますが、本校では、昭和52年の開校以来、農場での生産活動を基本として校内での講義や演習に加えて、先進農家や試験研究機関などでの見学や実習も数多く取り入れ、「新しい農林業の担い手」と「農林業・農山村をけん引することができるリーダー」の育成を目標としてきました。

担い手養成科は、次代の農林業を担い、地域における農林業の振興に指導的役割を果たす人材を養成するために設置された専修学校です。5つのコースで、講義と実習を組み合わせ、農林業に関する基本的な知識と技術を実践的に学ぶことができます。

- 役立つ「資格・免許」でスキルアップ
大型特殊自動車運転免許（農耕車限定）、造園技能士（林業・造園緑化コース）、家畜人工授精師（畜産コース）、フォークリフト、小型車両系建設機械、小型移動式クレーンなどの実用的な資格取得を応援
- 専門家を外部講師として招いた充実の講師陣、少人数で行う専門教育、授業のおよそ半分が実習



林業・造園緑化

林業と造園のいずれにも就業できる人材を育成するため、林業分野では、森林での作業や経営、木材流通など林業に関する基礎知識を学び、チェーンソーや刈払機などの林業機械の使い方を実習します。造園分野では、緑化木等の育成や造園に関する設計、施工、管理の基礎について学び、校内で実際に作庭（見本庭園など）や庭園管理を実習します。また、造園技能士の取得に向けた講義・実習を行うほか、小型移動式クレーン、玉掛けなどの資格取得の機会もあります。



畜産

乳牛、肉牛、養豚、養鶏、飼料に関する畜産の基礎知識について学ぶことは当然ですが、農業機械やスマート農業等の講義と実習にも配慮して、耕畜連携やSDGsの意識醸成を図るとともに、家畜人工授精師や家畜商等の資格取得にも積極的に取り組み、将来の畜産を担う人材確保に貢献しています。

現地実習や視察においては、先進的経営者や企業等のご協力の下、主要な畜種はもとより養蜂についても実施して、学生の知見を深めています。

卒業後の進路

8割程度が、自営や農業法人への就農のほか、農業・食品関係企業へ就職しています。 人数は過去5年間の合計

就 農			農業関係就職				進学・ その他 企業等	計
自営・ 農業法人	研修後 就農	小計	公務員	農業団体	その他 (市場、農機等)	小計		
53	8	61	6	23	29	58	32	151

本校卒業時には短大卒の学歴とともに専門士の称号が付与されます。また、専修学校の認定も受けており、日本学生支援機構の各種奨学金の受給や四年制大学への編入もできるなど幅広い選択肢を学生の皆さんに提供できるよう学習環境の整備に取り組んでいます。

さらに、令和6年度から環境保全意識の高まりなどを背景に従来の「造園緑化コース」を「林業・造園緑化コース」に再編・拡充しました。

農業・畜産・林業・造園に関心のある皆さん、ぜひ香川農大で自分の可能性を試してみませんか！

農業技術者の養成施設として		中堅農業者の養成施設として	
明治45年4月	香川県立農事試験場見習生	昭和4年4月	香川県立農事講習所
昭和14年4月	郡市町村農会技術員養成所	昭和17年4月	香川県立修練道場
昭和18年4月	香川県農業技術員養成所	昭和21年4月	香川県立農事講習所
昭和24年8月	香川県立高等農業講習所	昭和26年2月	香川県立経営伝習農場
昭和42年4月	香川県農業短期大学校	昭和37年4月	香川県立機械化農場
昭和52年4月	香川県立農業大学校に改組し、琴平町榎井に開校		
平成20年4月	学校教育法に基づく専修学校に位置づけられる		
令和元年9月	大学等における修学の支援に関する法律による修学支援の対象機関となる 大学等に位置付けられる		

施設等

教育施設 総土地面積 76,410㎡(うち、ほ場 50,050㎡、建物敷地 10,788㎡)

建物

本館	大教室、コース別小教室、図書室、化学実験室等
別館	第1.2研修室
教育棟	生物学演習室、情報処理演習室、流通加工演習室
その他	体育館、学生会館

実習施設

ガラス温室(10棟)、硬質プラスチックハウス(6棟)、パイプハウス(8棟)、
現場教室、機械研修施設、トラクタ教習コース

学校の状況



オクラの収穫



ケイトウの収穫実習



キウイの糖度調査



蜂群の取扱



造園の実習



トラクターの耕うん

全 景



(2020年8月31日撮影)

案内図



- 高松琴平電鉄榎井駅より500m 徒歩8分
- JR四国琴平駅より1.3km タクシー約5分 徒歩18分

学校の状況



スマート農業（ドローン）



ジビエ調理実習



異文化コミュニケーション(ガムラン演奏)



青果市場視察



講義風景



農大祭



機械演習